



平成 20 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 渡 辺 信
 (J A S D A Q ・ コード 7 8 9 5)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 専務取締役管理本部長 永 田 修
 電 話 0 4 8 - 5 4 0 - 2 6 2 4

平成 20 年 12 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 2 月 15 日の決算短信発表時に公表いたしました平成 20 年 12 月中間期(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)の業績予想(連結・個別)を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期連結 中間業績予想数値の修正 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 2 月 15 日発表)	43,000	300	100	0
今 回 修 正 予 想 (B)	43,000	△ 500	△ 850	△ 1,000
増 減 額 (B - A)	—	△ 800	△ 950	△ 1,000
増 減 率	—	—	—	—
(ご参考) 前期(平成 19 年 12 月中間期)実績	41,998	△ 1,324	△ 1,170	△ 4,226

2. 平成 20 年 12 月期個別 中間業績予想数値の修正 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 2 月 15 日発表)	34,000	100	100	0
今 回 修 正 予 想 (B)	34,000	△ 700	△ 850	△ 1,000
増 減 額 (B - A)	0	△ 800	△ 950	△ 1,000
増 減 率	—	—	—	—
(ご参考) 前期(平成 19 年 12 月中間期)実績	32,270	△ 1,018	△ 920	△ 4,304

3. 修正の理由

平成 20 年 12 月期連結・個別 中間業績予想の修正理由

①個別 中間業績

昨年実施した生産体制再構築(一部工場閉鎖、生産設備リニューアル等)により、当該閉鎖工場の経費削減は実現出来ておりますが、一方で当社における年末年始の欠品防止や、容器市場における製品値上げ容認・浸透を背景にした得意先からの駆け込み需要などに対応するため

に、在庫の積み増し（追加生産）を行なった結果、運送保管料が3億円程度過剰に発生する見込みです。一方、第2四半期において、一部過大在庫圧縮に向けた生産稼働調整や、製品軽量化と材料歩留改善の強化を最優先にして生産活動を行なうことなどから、一時的に生産量が減少し、製造原価が約2億円程度アップすることが見込まれます。

なお、製品値上げについては、一部得意先との価格交渉が長引いた影響により3億円程度が下振れ・下期にズレ込む見込みです。

以上の結果、売上高については、所期の目標のとおり推移すると予想されるものの、利益面については、営業利益が所期の目標を8億円下回る見通しで、加えて経常利益については、急激な円高による為替差損の発生などから、所期の目標を9億5千万円下回る見込みです。

なお、平成20年12月期通期業績予想につきましては、当社の事業の特徴から売上高が下半期に集中すること及び、今後、販売面での製品の価格転嫁と追加的な不採算取引是正による収益増、生産面での製品軽量化による材料費削減が本格的に寄与、その他の経費削減などにより当初の目標を達成できると見込まれるため、通期業績予想に変更はございません。

②連結 中間業績

連結子会社の中間業績は総じて所期の業績予想の通り推移しておりますが、個別の中間業績が上記の通り所期の目標に対して未達となる見込みですので、連結の中間期の業績見通しを修正いたします。

なお、平成20年12月期連結の通期業績予想につきましては、上記とおり個別の通期業績予想に変更がない為、連結の通期業績予想についても変更はございません。

上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、天候不順や為替変動等の様々な要因により異なる場合があります。

以 上